



発行所
 日本聖公会 東北教区
 仙台市青葉区国分町2-13-15
 TEL 022-223-2349
 FAX 022-223-2387
 URL <https://nssk-tohoku.com/>

東日本大震災13周年記念の祈り 説教

「いのちの分かち合い」

主教 フランシス 長谷川 清純

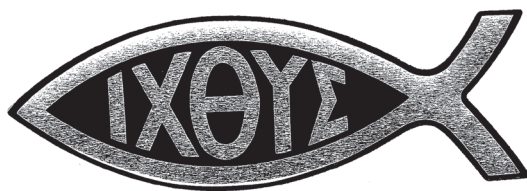
2011年3月11日の東日本大震災から13年が経ちました。私はここ福島聖ステパノ教会で祈り、対談する片岡輝美さんから「福島からのメッセージ」を聞いて、原発事故後の現況を知らされて、キリストを信じる者として何かしら行動するようにと促されるでしょう。

毎年何処かで大規模な自然災害が起きる日本で、1月1日能登半島地震に私は震えおののきました。瞬間的に志賀原発はどうなっているか、が頭をよぎりました。大地震と原発事故が絡みます。原発が立つ地域はいわば過疎地であり、同時に大体は震源地近辺です。私達は常時いのちの危険に晒されています。現在(2月末時点)、能登半島地震の犠牲者は241人、安否不明者も7人にも上ります。2ヵ月経っても1万人以上

上が避難所生活、4500人以上が断水状態の自宅避難者です。大きな不安がいつ解消されるのか見通しが全然立っていません。まさに過酷な状況で大変な苦痛と心労を抱えています。

2011年当時、福島県新地町では被災者が仮設住宅に入り始めたのが5月で、

この被災地よりもいち早く開設されましたが、それでも避難所生活は約3ヵ月にもおよび、大変な心労を抱えたのでした。ですから、能登半島地震で被災された皆さまの一日も早い生活改善がなりますようにとの思いが強まります。皆様からのお守りがありますようにお祈りいたします。「いっしょに歩こう!プロ



ジェクト」の私は、南三陸町志津川に行った折、ある逸話を聞きました。ある小さな村の人々の行動を私は生涯忘れられません。その逸話とは、海岸沿いの被災地から離れた隣り集落代表が、被災し孤立した集落の人たちに、早く食べ物をお届けするぞ!と呼びかけて、村の方々に握ったおにぎりをリヤカーに積みました。寸断された幹線道路は通行不能で裏の細い山道を行くしかなくとも、熱々を食べさせたいと毛布にくるみ決死の覚悟で運ばれました。おにぎりは少し冷めていましたが、大震災翌日、震えていた被災者の口に入って空腹を凌ぎ、人心地と大きな感激の涙と温かな気分

分に包まれて感謝が伝えられたというものでした。

新地町福田小学校体育館避難所でも、津波が到達しなかつた周辺地区住民が、翌日にはおにぎりや味噌汁を漬物と野菜付きで差し入れました。

栃木県のアジア学院からは卵や肉を、釜石の小さな漁港の集落に宅配しました。新地町の避難所では久しぶりの肉入りカレーに、本当に美味しかったと人々は満面の笑みで思いました。つまりは、集められた思いやりの心が人々を満腹にします。寄せ集まった労りの気持ちさがさやかで温かな幸せを生みます。

「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」とイエスを試そうとして問うた人は、「あなたはどう思うのか?」と、逆にイエスに問われます。「神を愛し敬い、隣人を自分のように愛すること」答えると、イエスは「正しい答えだ!。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」と促されます。行いの人にキリストのいのちが宿るのです。

このいのちを分かち合う人になれますようにと、お互いに祈り合ってまいりたいと思います。そのような人を神様は喜びなさいます。(於 福島聖ステパノ教会・全文は教区ホームページでご覧になれます)

東日本大震災13周年記念の祈り —原発事故の記憶をフェードアウトさせないためにも—

2024年3月11日(月)

13周年の祈りは3月11日(月)14時15分から、福島聖ステパノ教会をメイン会場として、東北教区青森、秋田、盛岡、仙台、郡山の6教会と1つの幼稚園で献げられました。

福島での礼拝は涌井康福司祭司式、長谷川主教説教にて行われ、講演会は脱原発の活動を続けていく片岡輝美さんに、昨年度に続きご登壇をいただきまし。今年も長谷川主教との対談形式で実施い

たしました。福島の教会は築120年、通信設備が全くなく、開催には困難がありました。それで

も今回、ここをメイン会場とした理由は、チョルノービリ原子力発電所事故以降、最も深刻な事態となった東京電力福島第一原子力発電所事故が起こったこの福島から、その記憶を消さないため、その祈りを発信するためです。説教で長谷川主教は今年1月1日に起こった能登半島地



震について触れられ、大地震は津波の危険性に伴い、どうしても原発の危険に晒されると述べられました。私たちクリスチャンが求める永遠の命を分かち合うために、「隣人を自分のように愛すること」を行う人になることの大切さを、ご自身の東日本大震災の支援活動での経験と繋げながらお

話になりました。

講演会は同教会の会館で行われ、片岡さんは今までの活動から福島の子どもたちの現状について、主教と意見を交わされました。その中で驚いたことは、福島県議会では「放射能で汚染された海洋放出水は安全であり、子どもたちに学校でこの汚染水の安全教育をする」という、まさしく教育への現場介入があることが報告されました。危険な物は薄めても蓄積すれば危険な物であることには変わりはありません。私たちは未来について責任を持って創造しなければならぬと思います。

数々の情報を提供くださった片岡さんに改めて感謝いたします。当日の信施は昨年同様、片岡さんが関わっておられる「これ以上海を汚すな！市民会議」と「民の声新聞・鈴木博喜記者」のために献げられました。礼拝と講演会はオンラインで配信され、これまでに合わせて延800回以上再生されています。

(東日本大震災被災者支援プロジェクトリーダー

浅原 和裕)

記念講演

「私のあとに続くいのちのために」

〜福島からのメッセージ〜

片岡輝美氏、長谷川清純主教の対談

長谷川主教…能登半島地震が13年前の東日本大震災と重なります。この度の地震で珠洲原発の建設を止めた人たちがいることを知りました。

片岡氏…やはり私たちは自然のことをよくわからないので

すね。珠洲原発を止めた人たちがいたことは大きな勇気を私たちに与えてくれます。実は原発建設を止めたところは日本各地にあり、その時々の人々の抵抗運動はあまり知ら

れません。私たちの取り組みも年月が経ちわかる時が来るかもしれないと思います。

今回の地震で輪島市が子どもたちを集団移転させたことは、自治体判断でそれができるのだと驚きました。あの光景を福島でも見たかったです。ただ、福島での事故を思うとき、もし今回の地震が原発事故を伴っていたら果たして子どもたちを避難させたのだろうか

と、私はうがった考え方を

してしまいます。現在、放射能の影響下では屋内退避が原則となっていますから。3月11日午後7時3分、原子力緊急事態宣言が出された時刻でこれは解除されておらず、今も国は緊急事態の中にあります。

長谷川主教…避難させるのにSPEEDI(緊急時迅速放射能影響予測システム)を使わなかった。

片岡氏…放射性物質を含む雲の流れを予測するシステムがありましたが福島の事故では生かされず、行っはいい方向に人々が避難したり留

まると、私はうがった考え方を

してしまいます。現在、放射能の影響下では屋内退避が原則となっていますから。3月11日午後7時3分、原子力緊急事態宣言が出された時刻でこれは解除されておらず、今も国は緊急事態の中にあります。

長谷川主教…避難させるのにSPEEDI(緊急時迅速放射能影響予測システム)を使わなかった。

片岡氏…放射性物質を含む雲の流れを予測するシステムがありましたが福島の事故では生かされず、行っはいい方向に人々が避難したり留

まると、私はうがった考え方を

してしまいます。現在、放射能の影響下では屋内退避が原則となっていますから。3月11日午後7時3分、原子力緊急事態宣言が出された時刻でこれは解除されておらず、今も国は緊急事態の中にあります。

長谷川主教…避難させるのにSPEEDI(緊急時迅速放射能影響予測システム)を使わなかった。

片岡氏…放射性物質を含む雲の流れを予測するシステムがありましたが福島の事故では生かされず、行っはいい方向に人々が避難したり留

まると、私はうがった考え方を

してしまいます。現在、放射能の影響下では屋内退避が原則となっていますから。3月11日午後7時3分、原子力緊急事態宣言が出された時刻でこれは解除されておらず、今も国は緊急事態の中にあります。

長谷川主教…避難させるのにSPEEDI(緊急時迅速放射能影響予測システム)を使わなかった。

アーカイブは以下のQRコードからもご覧になれます。



↑
記念講演



↑
記念の祈り



(長谷川清純主教)

まったりしました。文科省の管轄にあり、信用性が疑われ使用しないことになりました。昨年開かれた学術会議でのシステムを復活させる声があり、たとえ予測が外れたとしても緊急時には知らなければならぬ情報ですから私も同感です。

原発政策に反対する理由が5つあります。①この13年間で最大の環境汚染で世代を超えて影響します。③原発の立地はいわゆる過疎地と言われるところで、事故が起きればその住民を犠牲とします。通常運転していても、廃炉作業をしていても従事者のいのちを脅かします。④核のゴミは

人間の手に負えず稼働するほど増え続け、人体に影響を及ぼさなくなるレベルになるには約10万年を要する。だれが責任を持つのでしょうか。⑤これは基本中の基本の考えですが「核といのちは共存できない」、私は「宗教者が核燃料リサイクル事業廃止を求め裁判」に加わっております。意見陳述の際この言葉を述べました。六ヶ所村の再処理工場を止めるように訴えています。

長谷川主教・私も原告の一人です。日本聖公会原発問題プロジェクトも団体に加わっています。

片岡氏：今一番大きな関心となっているのは放射能汚染水の海洋投棄です。放射能汚染水かALPS処理水か呼び方で問題になりましたが、私は放射能汚染水だと思っています。

ALPS処理水は世界中どこでも流していると言いますが、福島のはデブリに触れていますからどれくらい放射能物質を放出しているのか、さらにメルトダウンした鋼鉄コンクリートが溶けてど



(片岡輝美氏)

んな有害な化学物質が含まれているかわかっていません。これはALPSでは除去できません。

放射能物質は海水で薄まらないうちに溶けてもいかなことがわかっていきます。2023年8月24日から海洋投棄が始まりました。今年は7回に分けて放出するようです。故意に流すことは「放射能は閉じこめておくのが原則」という放射能被ばく防護の原則に違反します。

長谷川主教：日本聖公会では昨年7月に日韓協働委員会です。それぞれの国から同時に汚染水海洋投棄撤回を求める声明文を政府に出しました。事故の時は仕方がないと思いが、今度は約束を破り国民のみている前で故意にするのだから、約束は破ってもいいと

子どもに教えるようなものです。教育現場でも酷いことが起こっていると伺いました。

片岡氏：被災県である福島県議が全国の教育現場でALPS処理水が安全なことをもつと言うべきだという意見書を国に提出しました。その撤回を求め私たちは3月5日議員たちを回りました。「がんばろう、福島!」、確かに復興のために尽力している人がいることを認めますが、この言葉の背後に放射能安全神話があった、福島原発被害の「見えない化・見せない化」をしているのを感じます。子どもたちに放射能安全神話を押し付けられないでほしいのです。

頑張ることや前向きなことが良しとされますが、大熊町から避難されたお母さんが悲しませてもらえない、絶望させてもらえない苦しさを訴えるのを聞いたときに、「悲しむ人々は、辛いである。その人たちは慰められる。」(マタイ5:4)のみことばの意味が真に分かったように思いました。人は本当の悲しみに触

講師 片岡輝美氏
1961年福島県生まれ。会津若松市在住。日本基督教団若松栄町教会員。2011年7月「会津放射能情報センター」を設立し代表となる。「会津放射能情報センター」代表。「子ども脱被ばく裁判の会」共同代表。「これ以上の海を汚すな!市民会」メンバー。「宗教者が核燃料リサイクル事業廃止を求め裁判」原告。

れ、それを認められることで再び歩き出すことができます。

長谷川主教：今回の講演のテーマ「私のあとに続くいのち…」がポイントかと思いますが、片岡氏：この国の様々なことを決める主権は私たちにあります。自分の勘や疑問を大切にすることは大事です。「疑い」は考え始めるきっかけとなります。そして若い人たちの持つ力を感じることにです。

ALPS処理汚染水差止裁判が始まりました。くじげずに声を挙げ続けていくことで、次のいのちがきつと私たちの姿を見ていくことを信じますし、何よりも私たち大人の責任はそこにあると思うのです。

(文責：東日本大震災被災者支援プロジェクト 梅津 庸子)

洗礼・堅信式



(前列右から2人目 菅さん、4人目 高山さん)

「主は私の魂を

いきかえらせ」

山形聖ペテロ教会

ペテロ 菅 鼓二郎

主はわたしの魂をいきかえらせ、み名のためにわたしを正しい道に導かれる。詩編23編でダビデ王はこのように語りました。私は3月17日の洗礼堅信により、罪を洗い流され、新しく生まれ変わりました。そして、正に私の魂は主によっていき返らせられ、私は義の道へ導かれたのです。新鮮で、喜ばしく、晴れやかな気持ちで私の心は満たされています。

いから守ってください。天地の創り主、始まりであり終わりである主は人の弱さを知らず、私たちのために貧しくなられ、その血により私たちの罪を贖いました。洗礼を受けた今、私はダビデを選んだ神、私たちの罪を洗い流した神と共にいられることへの喜びと主へ仕える心が一層強くなりました。御国で主と共にいつまでも生きられるよう、また私自身も心から言葉と行いによって、主の栄光を示し、御心にかたう者になりたいと思っています。

また、詩編23編は次のように続きます。「たとえわたしは死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませぬ。あなたがわたしと共におられるからで

す。」私の主人なる主は、私が生まれた時から死を迎えるその時まで、私と共にいます。また、その間も私に恵みと戒めを与え、苦難の時にも私を災

「堅信を受けて」

米沢聖ヨハネ教会

施洗者ヨハネ 高山 雅人

堅信をお受けすることが出来て、感謝するばかりです。

導かれた60数年前のことが、懐かしく想い出されます。初めて教会に誘ってくれたのは、高校の同級生でした。「楽しいよ！いい人たちがばかりなんだ！」

今に思えばさすがですよ、友だちになるや否や伝道を心がけるとは！彼の父は地元教会の牧師でした。

雨上がりの5月のこと、微風がレースのカーテンを膨らませて、葉緑の香りが礼拝堂に溢れていました。10人前後でしょうか、御年輩の方々の中に若い女性が一人、笑顔を向けてくれました。

お祈りが始まりました。出席者が次々と声に出して祈るのです。隣りの御婦人が祈り始めました。はつきりとした大きな声です。何人かのお名前をあげ、各々の方がどのような苦難辛苦に耐えているかを訴えるのです。そのうち、触れ合う肩が小刻みに震え始めました。すすり泣きが、とうとう泣き叫ぶような祈りになりました。全身電流が駆け巡ったかのように、私はただただ感動していました。他人のために泣きながら祈るとは！

この日以来卒業までの3年間、一度だって日曜礼拝を休んだことはありませんでした。まるで憑かれたように。神は彼女の絞り出すような祈りで、霊的クサビを私に打ち込んでくださったのでしよう。

「息子をたぶらかして！」

私の母は牧師館に何度怒鳴り込んだことでしょうか。この母も後年、聖公会で救われました。

高校の3年間共に励んだ旧友も、今では広く知られる牧師に召されました。

今は亡き姉妹の祈りが、今も私の心で響き渡るので。感謝。



小樽聖公会



小樽港を見下ろす小高い丘に水天宮があります。その参道沿いの観光スポット、そこに小樽聖公会があります。聖堂は1907年に建てられ、現存する北海道教区の聖堂としては最古です。とは言っても、CMSの伝統とも言えるべき、とても素朴なゴシック調の木造建築です。雪の多い小樽ですが、その都度手を入れ、その美しい姿を今に伝えていきます。その背後に小樽聖公会を愛してきた信徒のこころがしのばれます。何よりも主日礼拝（聖餐式・み言葉の礼拝）を大切に、それが小樽聖公会です。



シリーズ わたしの道の光

「入信のきっかけ」

大館聖パウロ教会

ヤコブ 青山 仁



入信のきっかけをという原稿依頼をいただいたから、なぜ自分が入信したのかをずっと考えてきました。

私が洗礼を受けたのは1998年5月でしたから、今年で堅信を受けて26年になります。家に仏壇はありましたが、両親とも特段の信仰はありませんでした。葬式はお寺さんで行い、正月には神社に初詣に行き、クリスマスにはケーキを食べるといった、典型的な日本の家庭だったと思います。そんな私とキリスト教との出会いは大館幼稚園でした。なぜ両親が私を大館幼稚園に入れたのかはわかりません。

父親の職場が近かったからかもしれない。

当時の大館幼稚園は大所帯でしたが、神様の子どもとして、園長の佐々木正市司祭様はじめ佐々木愛子先生、小田切光子先生、藤原久子先生ほか幼稚園の先生方からたっぷりの愛情を注いでいただきました。私にとっては本当に居心地のよい空間でした。卒園後は日曜学校にしばらく通いましたが、高学年になるに従って、自然と教会とも疎遠になっていきました。

久しぶりに教会を訪れるきっかけとなったのは、結婚でした。大館の教会で式を挙げたいと思い、信徒でもないのに教会で結婚式ができるのかと不安に思いながらも当時牧師の八戸功司祭様を訪ねました。司祭様は快く引き受けてくださり、信徒の皆様のご配慮により、すばらしい結婚式を行うことができました。ただ、このときには入信するまでにはいきませんでした。それから数年後、息子が大館幼稚園に入園したことで、また、教会を訪れる機会を得

ました。教会や園舎は、私が通園していた頃とほとんど変わらなず、不思議なことに、まるで、私自身が幼稚園児に戻ったような錯覚を覚えました。そして何よりも、その空気を吸って、とても安らいでいる自分に気づいたので。帰るべくして帰ってきた、自分のいるべき場所に戻ってきた、そのように表現してもいいかもしれません。それから、まもなく小野俊作司祭様のお勧めもあり、私と妻、そして息子の3人は洗礼を受けたのです。

「すべてのわざには時がある」私の好きな聖書の言葉の一つです。やっと大館の教会にたどり着きました。それから26年が経ち、今思うのは、それは大館の教会だったからなのだということ。信徒の皆さまが醸し出す優しく、温かな雰囲気。聖堂を流れる穏やかな時間。それこそが入信のきっかけだったのだと思います。その中で、神様とつながっていただける喜びを感じながら、これからも歩み続けて参りたいと思います。



洗礼堅信式が行われますと、私たちは有り余るほどのお恵みを賜っている幸福感を味わいます。3月17日、山形聖ペテロ教会で米沢聖ヨハネ教会合同洗礼堅信式がありました。山形の菅鼓二郎さんは遠藤洋介司祭から洗礼を授けられ、続いて米沢の高山雅人さんとお二人堅信を受領されました。洗礼名は各々の教会名にちなんでペテロと施洗者ヨハネです。菅さんは今年、高校を卒業して大学に入学されます。高山さんは、少年期に他教会で洗礼を受けていましたが、母親のことがあって聖ヨハネ教会の礼拝に通われて信徒の交わりをされての堅信でした。老いも若きも共々に等しく神さまの愛を賜るさまに、麗しさを覚えた一日となり深く感謝いたしました。

昨年のクリスマスには、青森聖アンデレ教会で親子3人の洗礼堅信式がありました。3歳と5歳の女の子2人は聖

アルバン幼稚園の園児さんです。子どもたちにとって洗礼盤が高いので、聖マリア幼稚園の大型積み木を重ねて階段にしました。式が始まった頃はもじもじしてお母さんに纏わり付いていましたが、2人ともいざ自分の番になるとその階段を真剣に2段登り、手を合わせ神妙な面持ちで受洗しました。その可愛らしさに誰もが心打たれておりました。お母さんは洗礼後両脇に子たちをしがえての堅信式となりました。その光景もまたいじらしく、聖堂内に温かな笑顔と遠慮がちな笑い声がありました。微笑ましい一時でした。

受洗者堅信受領者だけでなく教父母たちも、居合わせた人たちも、どなたもが神さまに愛される子どもであり、教会はこの愛する子たちのコミュニティです。だれも彼もが神の子であるならば、そのコミュニティは神の家族です。神の家族の一員になられた兄弟姉妹たちを心から大歓迎し迎え入れ、声かけあい共に信仰を深め成長できるよう、祈り合ってまいります。

(教区主教)



磯山聖ヨハネ教会

2011年3月11日、東日本大震災。あれから13年。新しい道路ができ、環境も整備された。外観はよくなった。だが心が落ちつかない。小さな揺れに緊張し、ディーゼル

トラックが近づく時のゴーツという音に身がまえる。忘れようとしても忘れられない想い。思い出すまいとしても湧き上がる面影。

教会は津波の被害はなかったが、危険建造物に指定され解体。信徒の仮設住宅などを回って礼拝を続けたが、2017年6月教会再建。旧教会跡地は東日本大震災犠牲者を記念する「祈りの庭」として整備された。敷地に並べられ

た礎石は元の教会の形を残し、記念碑、記念パネルの他、全国からの募金により祈りの鐘、祈りのレンガが献げられ、桜の苗木、クリスマスローズが贈られた。

この度の3月11日を覚える記念礼拝は、3月9日に「祈りの庭」で行ったが、今年はこの日の他にも6月23日(日)と10月12日(土)に「祈りの庭」で行う予定である。

洗礼おめでとう

ペテロ 菅 鼓二郎

(3月17日・山形)

ヘレナ 外崎 佳代

フランシスカ 中沼 愛羅

(3月31日・弘前)

初陪餐おめでとう

ヘレナ 外崎 佳代

フランシスカ 中沼 愛羅

(3月31日・弘前)

堅信おめでとう

ペテロ 菅 鼓二郎

(3月17日・山形)

施洗者ヨハネ 高山 雅人

(3月17日・米沢)

永遠の平安

マーガレット 武田 きみ子

(3月26日・山形)

千葉 哲朗

(3月30日・青森)

常置委員会報告

(第5回・3月22日)

報告事項

▼常置委員長報告…チーム北国の現況を報告。両教区共通プログラム「大館の物語を聴く会」を6月9日に開催する。7月15日に開催される「北海道教区宣教150周年記念礼拝」にチーム北国の東北教区メンバー9名が出席する。▼

執行機関報告:11月4日に「東北教区宣教協議会」を開催、その前段として9月15〜16日に「プレ宣教協議会」を行うことを予定している。

協議事項

▼2024年幼保園チャプレン派遣案を承認。▼東日本大震災被災者支援プロジェクトの車両を、能登半島地震被災地支援のため、京都教区へ譲渡することを承認。▼教区諸委員異動について…青少年活動推進グループメンバーを1

名増員、東北教区宣教協議会準備会(仮称)を組織すること、チーム北国組織セクショに規則・規程グループリーダーを加えることを承認。▼諸規程の改正について…教区会細則、研学資金運用規程、旅費規程の改正案を確認し、これを承認。

5月逝去者記念聖餐式

5月8日(水) 午前10時、
於 主教座聖堂
司式、説教 長谷川清純 主教

司祭 Allan Worthington Cooke

1944年5月6日逝去

司祭 ヨハネ 齊藤政信

2023年5月12日逝去

宣教師 Miss Irene P. Mann

1927年5月19日逝去

司祭 アントニオ 影山博美

2020年5月20日逝去

宣教師 Miss Dorothy F. Hittle

1940年5月28日逝去

司祭 バルナバ 与賀田千秋

1997年5月28日逝去

司祭 ナタナエル 佐々木正市

1996年5月29日逝去



5月5日は「東北教区の青少年の日」です。教区の青少年と活動を覚え、お祈りください。この主日のためにお献げいただいた信施は、東北教区の青少年活動、管区等青少年プログラムへの参加補助等に用いられます。

東北教区の青少年のための祈り

あなたの若い日にあなたの造り主を覚えよ、と聖書のうちに教えてくださった主よ、私たちは東北教区の教会の青少年を覚えて祈ります。どうか一人ひとりの心を励まして、喜びと希望を持って信仰の道を歩むことができますようお導きください。青少年たちが互いに出会い、祈り、語り合う中で交わりの輪が豊かにされますように。そして教会の中で、また社会の中でその務めを果たすことができますように。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン